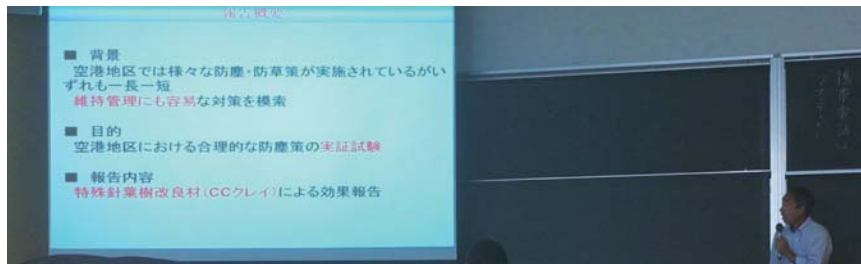


新着情報

羽田空港国際線地区防塵・防草対策に試験採用 平成29年度土木学会全国大会でJGS-CC®クレイ試験採用実績を報告



平成29年度土木学会全国大会 平成29年9月13日撮影
発表題目:「特殊針葉樹皮改良材を活用した空港の防塵・防草対策」



羽田空港国際線地区 平成29年4月撮影

羽田空港国際線ターミナル周辺では、エアポートホテル建設などの新たな土地利用を進めるにあたり、旧空港用地の舗装版を撤去しています。着工するまでの期間は、隣接する国際線ターミナルや環状八号線への飛砂を抑える防塵対策が必要となり、JGS-CCクレイが試験的に採用されました。

その後追跡調査を行い、効果については、平成29年度土木学会全国大会・年次学術講演会に発表しました。さらに冬の乾燥&強風時の防塵効果を踏まえ、空港におけるJGS-CCクレイの有効性を確認し、土木工事での適用も増やしていきたいと思っています。

新着情報

「あいくる材見本市」開催、弊社JGS-CC®展示参加 愛知県リサイクル材登録制度:あいくる材(初の展示会)



弊社商品展示の様子 平成29年10月20日撮影

弊社資材JGS-CCクレイ、グリーンは、愛知県が実施しているリサイクル材登録制度「あいくる材」に登録されています。過日(9月20日)愛知県庁舎内で催された「あいくる材見本市」に弊社も参加させて頂きました。愛知県で平成14年度から始まった「愛知県リサイクル資材評価制度」(総称:あいくる“aicle”)ですが、今回が初めての展示会だそうです。テーマは実際のモノに触れることで、紙面では伝わらない情報を伝えることです。県職員以外の方々からも参加があり盛況の展示会に、弊社としても充実の一日となりました。県庁事務局並びに職員、ご参加の皆様に、この紙面を借りてお礼申し上げます。

見えないところを見る化からスタート - 土壌調査・改良提案・効果検証への取り組み -



断面調査では、現状の芝の育成状況や根の状態、土の状態を観察・測定し、改良提案に必要な情報を収集します。



別府市実相寺多目的グラウンド 平成29年11月4日撮影

スポーツターフの芝生は、選手のプレイに伴う擦り切れ、グラウンドの管理における低刈り、踏圧や管理機械の侵入による土壌の固結化などストレスを強く受ける環境で育成しています。そのような過酷な環境下でも美しい芝生を維持するためには、根の良好な育成がとても大切です。根が良く伸長するためには、土の状態が良くなければなりません。

「どんな土を購入したらよいだらうか？」

「床土として、現地発生土を利用したいが、芝生の育成に問題はないだらうか？」

「土壌改良が必要なのか?改良すれば使えるのか?」

弊社は、このような不安や問題を解消するために、まずは土の調査・分析により、土の性状や状態を見える化し、現状を正しく知ることから始めます。そのうえで様々な条件を考慮し、最適な土壌改良提案をしています。さらに、施工後の経過観察や改良効果の検証にも取り組み日々データを積み重ねながら、昨日より今日、今日より明日、より良い資材開発や土壌改良工法の提案を行っています。



試験施工による効果確認(ホールカッターを利用し芝生の根を確認)

車の重量にも負けない踏圧に強い天然芝
駐車場利用に有効なピートメリア® 2年7カ月後の経過観察



長崎県立総合運動公園野球広場 平成29年10月21日撮影
V・ファーレン長崎 vs 名古屋グランパスで臨時駐車場として使用時の様子

長崎県立総合運動公園野球広場の外野部分には、車の重量にも耐えられる強さを持つ耐圧基盤土壌づくりに、ピートメリアを導入しています。同運動公園は、「第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)」を契機に改修工事を行い、サッカーやラグビー等の大きなイベントが催されるようになりました。それにより利用者が増加し、施設の有効的な活用を図るために、天然芝で整備された野球広場も臨時駐車場として使用することになりました。上記の写真は、施工から2年7カ月が経過した長崎県立総合運動公園野球広場の様子です。車の重量や踏圧にも負けず、天然芝が育成していることが確認できます。

ピートメリアは、天然軽石を母材として、有機質土壌改良材を加えた緑化基盤材です。母材である天然軽石は、硬質で高い支持力を保つため、耐圧性に優れた路盤をつくることが可能です。また、空隙を持ち、天然芝の育成に必要な保肥性・保水性・透水性を兼ね備えています。さらに、軽量であるため、屋上など荷重制限のある場所にも最適です。

ピートメリア施工過程

長崎県立総合運動公園野球広場



① フレコン搬入 平成26年12月20日撮影



② 敷均し 平成27年1月10日撮影



③ 転圧 平成27年1月10日撮影



④ 芝張り 平成27年2月21日撮影



⑤ 芝生の育成状況 平成27年7月18日撮影

期待以上の改修効果に学校から驚きの声!!
実は、冬季の凍上抑制にも有効なJGS-CC®クレイ舗装



【全景】三田松聖高等学校総合グラウンド(兵庫県)



施工前 平成26年3月7日撮影

【表面部拡大】



平成26年3月7日撮影 夜間最低気温-4.0℃
改修前は、凍結・融解でぬかるんでいる

【全景】三田松聖高等学校総合グラウンド(兵庫県)



施工後 平成28年1月25日撮影

【表面部拡大】



平成28年1月25日撮影 夜間最低気温-7.5℃
改修後は、凍結・融解等によるぬかるみは無し

飛砂抑制や水はけ改善効果を持つクレイグラウンド工法として皆さまおなじみのJGS-CCクレイ工法ですが、実は水はけ改善がもたらす意外な効果でも好評価を頂いております。

今回ご紹介する現場は、兵庫県三田市内にある私立高校の野球グラウンドです。兵庫県の中でも山間部の小高い場所という土地柄から、冬季は夜間にグラウンドが凍結(凍上)をおこすことも多く、午後になって気温があがり溶け出すとグラウンドはぬかるみが酷くなり、部活の利用も難しい状態となるとの話でした。長年、困っていた問題解消を目的として2年ほど前に全面改修工事が行なわれました。整備方法は既設の真砂土にJGS-CCクレイの混合を行うという方法でした

が整備後は、雨天後の水はけが改善されたという効果はもちろんのこと、当初目的の凍上への効果も期待以上だったとの好評価でした。また、経過確認をした現場の施工者からも同様の声を頂きました。

学校から次のお言葉をいただきました

改修前、1月、2月は、凍上により、晴れた日でもグラウンドがぬかるんで使用できない状態でしたが、改修後は、通常の練習ができるようになりました。また、雨天後の水はけも見違えるようになりました。生徒たちも大変喜んでます。

三田松聖高等学校総合グラウンド 平成27年12月改修
既設真砂土に対しJGS-CCクレイ混合改良を実施
夜間最低気温:気象庁公開データ引用
写真及び施工協力:阪神園芸株式会社